

# 那珂川流域の里山資源を活用した農村ビジネス創出(栃木県那須烏山地域) - 那須烏山活性化協議会 - 提案書(様式4)

## 地域の現状と課題(提案の背景)

※本様式は必ず1枚に収め、文字は10ポイント以上とすること。

若年層が大都市部に吸収されて人口減少が著しく、また高齢化の進展により地域の活気が失われつつある。このことは基本的には雇用の場が少ないことに起因している。しかしながら、当地には地域資源として那珂川流域の自然や里山、統廃合で生じた廃校等の未活用施設があり、これらを上手に利活用することで地域の活性化を図り、雇用の場を創出し、賑わいのあるまちとしたい。このために、里山資源を活用した商品開発や都市と農村の交流による都市住民の観光や二地域居住・定住を増やす対策を講じたい。

## 目指すべき地方再生の全体

### ◆地方の元気再生事業◆

#### ○取組のねらい・実施主体間の連携等

本計画は那珂川流域の里山や自然資源を、社会的ニーズ(里山の持続的整備、地域特産品開発、二地域居住・定住、都市農村交流等)を踏まえ、課題(地域振興、廃校利用、集客力等)を解決するため、複合的な取組みを試みることで地域の活性化を図っていくものである。推進母体である那須烏山活性化協議会には、地域及び都市のNPO、企業等の諸団体がそれぞれテーマを持って参加しており、テーマ間での連携を強化し、情報交換による波及・相乗効果を高めることとしている。

#### ○主な取組

#### 取組①「里山資源活用による商品開発」 取組主体:NPO那珂川流域悠遊会

- ①取組内容
  - ・間伐地竹の機能性有機肥料化
  - ・機能性有機肥料の商品化方策の検討
  - ・未利用洞窟の農業利用の環境調査
  - ・洞窟に適した農作物の商品化調査
- ②見込まれる効果等
  - ・新商品開発による地域産業の育成
  - ・新商品開発による起業家の育成

#### 取組②「廃校等を短期滞在と地域福祉に活用する事業モデル開発」 取組主体:NPO都市農村交流推進センター

- ①取組内容
  - ・廃校の短期滞在企画と事業性評価
  - ・短期滞在社会実験
  - ・廃校の福祉等への利用企画と事業性評価
  - ・廃校等の複合的利活用計画策定
  - ・地域コーディネーター育成
- ②見込まれる効果等
  - ・二地域居住・定住促進、都市と地域の交流と連帯感

#### 取組③「那珂川の自然と里山を利用した交流事業」 取組主体:NPO地域交流センター

- ①取組内容
  - ・体験学習等の企画、事業性評価
  - ・体験学習、イベントの社会実験企画、実施
  - ・通年持続的運用の方策検討
  - ・地域コーディネーター育成
- ②見込まれる効果等
  - ・集客力向上、地域・都市交流促進

### ◆実施スケジュール◆

H21年3月	那須烏山 活性化協議会設置
H21年8月 ~ H21年11月	実施取組① ・有機肥料化検討、試験 ・同上商品化検討(10月~) ・未利用洞窟調査(~9月) ・洞窟の農業利活用調査
H21年8月 ~ H21年12月	実施取組② ・二地域居住セミナー開催 ・短期滞在企画・評価 ・短期滞在実験(10月~12月) ・福祉等の企画・評価(~9月) ・廃校等の複合利用計画 ・地域コーディネーター育成
H21年8月 ~ H21年12月	実施取組③ ・体験学習等の企画・評価 ・体験学習等の実験(9月~) ・持続的運用検討(11月~) ・地域コーディネーター育成
H22年4月 ~3月	地方の元気の継続 (実験実証事業を拡充)
H23年 ~H24年	・機能性有機肥料、薬効キノコ等の事業化 ・廃校の改造、利用開始 ・親子交流事業の本格的展開

### ◆H22年度以降の展開◆

- ・平成22年度:「地方の元気再生事業」を継続実施  
(機能性有機肥料と洞窟利用農産物の本格開発、短期滞在と地域福祉事業の実証、自然体験等による親子交流事業の実証)
- ・平成23~24年度:機能性有機肥料と洞窟利用農産物の事業化、廃校の短期滞在と地域福祉の事業化、自然体験学習等の事業化

### ◆地方再生の目標像◆

- ・地竹を原料にした機能性有機肥料と未活用洞窟での農産物の農商工連携による商品化
- ・廃校を短期滞在と地域福祉に利活用するためのサービスメニュー開発と評価、事業推進
- ・那珂川の自然体験学習やアウトドアイベントの通年持続的運用システムづくり、事業推進